

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

～元の環境に戻るの早い？～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 中里 信介

今週のドル円予想レンジ **106.80 ～ 108.30**

りそなWEEKLY COLUMN

行動経済学から見た投資とダイエットの成否 (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 野瀬 大史

- 投資やダイエットの成功のカギともなる「現在志向バイアス」とは
- 「自滅選択」をしやすい人が投資やダイエットを成功させる方法

2020/6/1

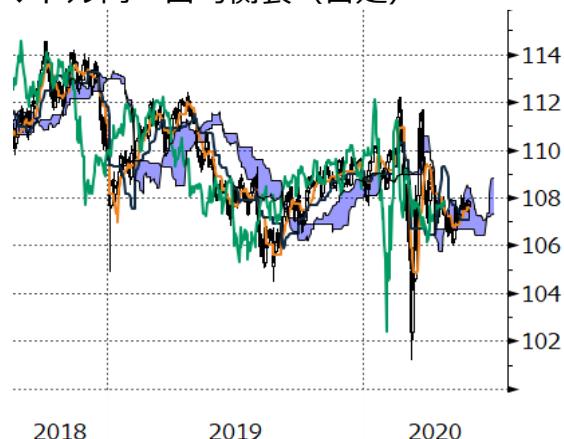
りそな外為レポート

～元の環境に戻るの早い？～

今週のドル円予想レンジ **106.80 ~ 108.30**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週は週初が米国のメモリアルデーであり、静かな立ち上がり。週中頃には、EUによるコロナ基金の素案が発表された他、前週から引き続き経済活動再開期待の高まりから株価上昇のリスクオン相場。ドル、円が共に売られたことにより、ドル円相場は107円台をキープし方向感出にくかったものの、対EUR等のクロス円相場は円安方向に大幅に動いた。一方で、全人代において中国が国家安全法を可決したことにより、米中関係の悪化は必至。金曜日にはトランプ大統領が香港への優遇見直しを発表した他、中国寄りとされるWHOからの米国脱退が示された。

全国で緊急事態宣言が明け、初めての土日を迎え街中には人が戻りつつある日本。一方で、世界ではコロナウイルス発生源の責任問題を抱えながら、米中対立は去年の状態に戻りつつある。更なる米中関係の悪化懸念とトランプ発言に一喜一憂しながら、ドル円も同様に膠着状態。コロナウイルス感染拡大による経済活動のダメージは、回復に時間がかかるとされているが、マーケットの関心事や相場の状況は早くも元に戻りつつあるのかもしれない。(カスタマーディーラー 中里信介)

◆今週の日程

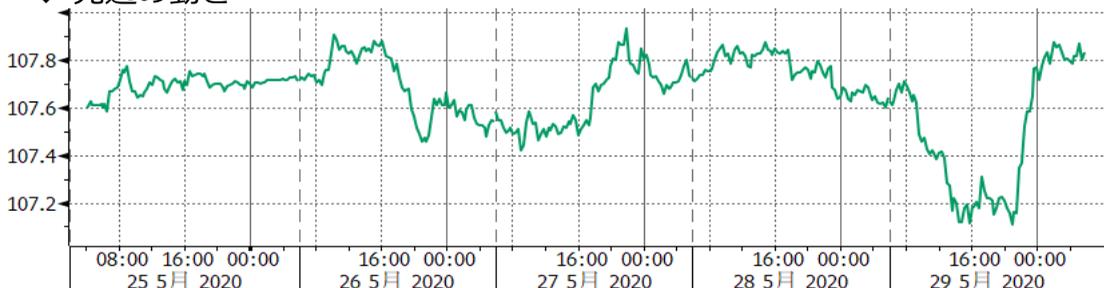
1日(月) 日 20/1Q 法人企業統計調査
1日(月) 中 5月製造業PMI
1日(月) 米 5月ISM製造業
2日(火) 日 10年国債入札
2日(火) 豪 豪中銀理事会

3日(水) 米 5月ISM非製造業
4日(木) 日 30年国債入札
4日(木) 欧 ECB理事会
5日(金) 米 5月雇用統計
7日(日) 中 5月貿易統計

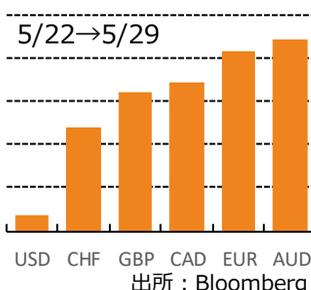
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 5月29日(金) 107.83円 VS 6月5日(金)

東京							大阪				埼玉					
尾股	中根	湊	井口	鳥井	田中	浦本	中里	伊藤	佐藤	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	伊藤
↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

行動経済学から見た投資とダイエットの成否

- 投資やダイエットの成功のカギともなる「現在志向バイアス」とは
- 「自滅選択」をしやすい人が投資やダイエットを成功させる方法

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 野瀬 大史

3つの質問

突然ですが、以下の3つの質問に教えてください。

あなたは、株を持っていると仮定して、どの選択肢を選びますか（金利はゼロとして考えて下さい）。

質問①

- A. 「今」売ると、必ず5万円儲かります。
- B. 「来年」売ると、必ず5万円儲かります。

質問②

- A. 「今」売ると、必ず5万円儲かります。
- B. 「来年」売ると、必ず5万円儲かります。
- C. 「再来年」売ると、必ず5万円儲かります。

質問③

- A. 「20年後」に売ると、必ず5万円儲かります。
- B. 「21年後」に売ると、必ず5万円儲かります。

質問①ではA、質問②ではA > B > C、質問③ではどちらでも良い。

このような回答になりませんでしたか。実はこのように感じる人が最も多くなる結果がでています。それはなぜでしょうか。

人は「今」という時間を強く重視する傾向にあると言われています。そのため、同じ金額であれば、「今貰える報酬の価値」よりも「将来もらえる報酬の価値」の方が低くなります。このことを行動経済学では、『現在志向バイアス』と呼んでいます。

これは投資の世界やダイエットにも当てはまります。

投資の世界では、少しでも値上がりをする、冷静な判断をすればまだまだ値上がりの可能性が高いにも関わらず、目先の利益に捉われ早めの利益確定売買を行いがちです。他にも、株を購入した後にすぐに50%値下がりすることと1年後に50%値下がりすることを比べると、すぐに値下がりした時のほうが心理的な影響は大きくなります。

「今」という小さな利益を過大に評価し、「将来」の利益を過小に評価する原因として『現在志向バイアス』が働いています。

人が陥りやすい「現在志向バイアス」



りそな WEEKLY COLUMN

ダイエットと現在志向バイアス

ここからダイエットに失敗する原因も見えてきます。

人は「今」を大切にしているので、ダイエットのような将来への行動は基本的に苦手です。ダイエットを決意した人が、この夏は海に行くために痩せるぞと将来のためにダイエットを始めます。しかし、そこに友人がお土産でケーキを持ってきました。今日一日だけは良いのではないかと思い、ケーキ(目の前の快樂)を我慢できず食べてしまいます。この行動も『現在志向バイアス』が働いたために「今、ケーキを食べる喜び> 将来痩せる喜び」となってしまったのです。

このように将来のために我慢することができず、今の快樂に走ってしまう行動は「自滅選択」と呼ばれており、その傾向は以下の通りです。

- ・女性より男性の方が引き起こしやすい
- ・年齢が高いほど傾向が強い
- ・失業など生活が不安定な人ほど引き起こしやすいと言われています。

では自滅選択を引き起こしやすい人は、どうやって投資やダイエットをすればいいでしょうか。以下に、2つの対応策を紹介いたします。

①コミットメント：自分が将来する行動を宣言すること。

投資をする場合は、“この水準まで値上がりしなければ売らない”や“半分は売らずに保有する”などルールを明確化することで、「今」の価値を過大評価することを抑制し、現在志向バイアスに流されずに行動することができます。

ダイエットをする場合は、周りの人に宣言することやトレーナーをつけてジムに通うことなどの自分以外の第三者を巻き込んで、やめにくい環境を作り出すことが効果的です。

②自己シグナリング：自分の行動を振り返ること。

投資をする場合は、利益確定売買のタイミングが早くなっていないかと過去の取引を振り返ることで、今後の取引戦略に活かすことができます。

ダイエットをする場合は、今日食べたものを書き出すことによって、食べ過ぎていないのかを確認することができ、将来の抑制に繋げることが可能です。

以上のことから、人は無意識のうちに「今貰える報酬の価値」よりも「将来もらえる報酬の価値」の方を低く感じることで投資やダイエットに失敗し易く、そのための対応策としてコミットメントの導入により「今の価値」を過大評価することを防ぎ、また自己シグナリングにより過去の行動を精査することで将来への行動指針にすることが出来ます。例えば、一部のアメリカのビジネスパーソンは、肥満だと出世できないというのは有名な話です。自身の体重管理も満足にできないようでは、部下の管理は任せられないということなのでしょう。実際アメリカの大手IT企業のトップ達を見回しても、太っている人はいません。投資やビジネスに成功している人は、現在志向バイアスに陥ることなく行動していることの証左と言えるでしょう。

私自身、ダイエットを計画してもなかなかやり遂げられない状況が続いているため、ここでこの夏に向けて必ず痩せると宣言させていただきます。

投資やダイエットを成功させるには

